

機能食品通信

第68号

発行 (株)機能食品研究所

今回のテーマ

・LINE自作スタンプ、販売開始しました。



11周年

機能食品研究所、梅田です。いつもお世話になっております。

2004年4月に起業し、おかげさまで11周年を迎える事ができました。これからもより良いサービスを「提供できるよう努力と工夫を蓄積いたします。

先月号は、三重県事業を委託しました件、6月16日(火)セミナー開催する件、今年も「f i a」(ファイア)に出展します件でした。

「三重県事業の、食の機能性評価に関する専

用相談電話の開設やセミナーの開催など、期待していますよ。」専用相

談電話、かけますからね。「」6月の機能性表示食品の制度説明のセミナ

ー、申し込みます。「i f i a」、うちも出展しますので会場で会いまし

よ。」「なげの」コメントを数多くお寄せいただきました。皆様、ありが

たございます。「」相談の専用電話窓口について詳細は弊社ホームページ



セミナー申し込み用紙

「」相談窓口」という「」コーナーを作りましたのでお目通し願います。またセミナーのお申し込みを多くの皆様よりいただき、誠にありがとうございます。お申し込みが未だのかたは、「」応募お待ちしております(お申し込み用紙を同封しました)。

LINE自作スタンプ、販売開始しました。

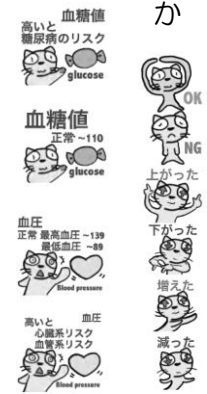
◆1年ぶりの作ってみました企画

2年前の5月号では、プラ板に油性インクで絵を書き、オープントスターで熱を加えると縮んでマスケットになるお話を書きました。特筆すべき点は、プラ板がインクジェットプリンタ対応のものを見つけたという事で、おかげで自作の根付を1個1個手書きでは無くプリンタで量産してフリーマーケットに出せましたというお話でした。

1年前の4月号は「LINE自作スタンプの話」でした。昨年2月下旬のある日、LINEで自作のスタンプが作れるというニュースを見、制作規定を調べたうえで試みに制作。制作した内容は健康診断の結果の数字について話す時のスタンプです。あらかじめ完成させておき、応募開始日に応募し、審査を待つ事数ヶ月。審査結果は「日常会話というガイドラインから逸脱しているため修正してください。」



この事。つまり、血圧が下がったとか血液検査の基準値は私にとっては
 日常会話なのですが・・・、審査員のか
 たに言われて「そう言われればそうか
 も。」と納得。そのまま保留にしてあ
 ります。



そして今月号は1年ぶりに自作のお話です。

今年の1月開始の臨床試験の被験者さんへの連絡業務を年末年始に行
 い、ようやくお休みがとれた1月中旬頃。久しぶりに何かを自作したい
 という気持ちがあつたのでわいてきました。そうだ、昨年からななな
 たLINE自作スタンプの審査に通過したい。保留案件である健康診断
 の数値を日常会話みたいにする方法は未だ思いついていないため、全く
 違う新作を作り、まずは一つでも売り始めよう・・・と。

◆自分の経験を思い出しました。

昨年末頃でしようか、ネットのニュースでLINEのトーク(文字メ
 ッセージのやりとり)が楽しくきて、睡眠時間が減ってしまう事が問題
 になっているという記事を見かけました。私はLINEをほとんど使っ
 ておらず、メーカー様やお店の公式アカウントによるキャンペーンのお

知らせなどを見るために使っているくらいです。このようにそのトーク
 機能はほとんど使っておりませんが、寝不足になる気持ちは分かります。
 あれば16年くらい前、私が大学生だった頃の話。趣味のホームペー
 ジを作っていました。新製品の技術・製品についての話から、ゲーム
 の新作発表会を見にいった話、大阪で食べ放題へ行った話やら何でも載
 せていました。

そのホームページ上に自由に書き込んで交流できる掲示板の画面を
 設置したり、チャットという文字メッセージのやりとりにより多数の友
 人と同時にお喋りする画面を設置して楽しんでおりました。掲示板は書
 き込みがあつた後で、どのようなお返事をしようかしらと熟考しておけ
 ば良いのですが、チャットは相手の方々がコンピュータの電源をつけ
 た状態で返答を待たれております事から即答の必要がありません。そして
 その即答の繰返しのよの話が盛り上がり、なかなか「ではお休みなさ
 い。寝ます。」と言いたくない気持ちで寝不足もしばしば。翌朝同じ建
 物で会える農学部近畿大学 奈良校舎の友人だけでなく、同じ大学で
 も別の学部の友人大阪校舎、和歌山校舎など、別の大学に進んだ友人
 (名古屋など)、趣味やオンラインゲームを通じて出会った友人(全国各
 地)などが場所という制約を超えて一堂に会える事ができるのが夢のよ

うでした。今もその時のご縁が続いていますし、その時に教えて貰った事が仕事・研究・趣味で役に立っています。先月も、高校時代からの友人・大学の同じ学部からの友人・別の学部からの友人の4人で名古屋駅前のビックカメラや大須商店街に行き、家電や部品やらの話題で盛り上がりました。

さて話は夜中になかなかLINE上でのトーク(文字メッセージのやりとり)の止め時が見つからないという件に戻ります。

『寝落ち』、つまり机上で作業中に寝てしまうと、なんだか寝た気がなくて疲れが残る事がありますよね。なので、約16年前の当時は、なるべく机上のパソコンの電源を切って布団に入って寝ようという区切りのようなものがありました。

しかし今では布団に寝転がりながらスマホ・携帯でダラダラと楽しめます。寝落ち方をしても暗い部屋のお布団のなかでそのまま寝られるという身体にも優しい環境。そりゃ皆さん寝るタイミングが見つけれないのは分かります。でも寝落ちは相手によつては「とたんに返事が無くなった。なんて失礼な。」と思われてしまう事も無いとは言いきれませんが、なるべく避けたい事。よつて「すいませんが明日早いので、お先に失礼します。」「寝ないとマズいので、すいません。」とサラリと抜

けられるようなスタンプを作ってみたら誰かのお役に立つのではないだろうか、風呂に入りながらボーンと考えました。

◆まずはイメージ案をノートに書き出します。

風呂上がりにノートを取り出し、消せるボールペンで、イラストとイラスト内のセリフを書いては消し書いては消して作っていきました。40個のスタンプ案を作るのに、約1時間。

今回のキャラクターはクラゲです。いま海

外にいらっしやる大学院時代の先輩からFace bookで「なぜクラゲ？」と質問いただきました。はい、手足が書きやすいからです。



◆次にイラストを描いていきます

イラストはペンタブレットという板とペン型の入力装置を使って描きました。

パソコン上に画像ファイルを作成し、薄い色で下書きの絵を書きます。その絵に清書をするので下書きの色だけ選んで消す作業が手間なので、清書は上に重ねた透明な別の画像ファイルに行ないます。こわいけど下書きの絵のファイルを消してもその上に重ねてあ



る清書の絵のみが残ります。色や文字などをこのように別々の透明な画像ファイルを上重ねて作っておきますと、色だけの変更、文字だけの変更がしやすくなります。このように透明な画像ファイルを重ねる事を「レイヤーと呼びまして、ソフトウエア上で簡単に管理・操作できます。試しに1つの絵を作成したところ所要時間は15分。40個作る事となると単純計算で10時間。なるべく時間を短縮できるようにと1つ1つの行程を効率的に行いましたとこの時間で済みます事ができました。

◆ 出来上がったので申請

40個のスタンプと、1個の販売時に一番頭に出る主題用画像、そして実際にLINEの操作画面でスタンプの種類を切り替える時の小さな画像1個の計42個ができれば申請です。売り場に並び時のキャッチコピーの文章を打ち込み、制作者情報や売上げの受け取りをする銀行口座などを登録したら完了。この作業をした1月12日から時が経つこと3ヶ月の4月16日に「承認されました」というメールが届きました。あれ、何の直しもなくスナリと審査通過?! おおこれは嬉しい。さっそく販売などに関する画面で最終的な設定をして販売開始。実際に売り場に並んだのを見た時には心躍りました。(LINEのスタンプショップという画面で「



ラゲちゃん』または『お先に失礼』と打ち込むと出てきます。(

手直し無く1発で審査を通過出来たのは昨年作成した時に「次はこうしよう。」という考えと工夫の蓄積が行われていたからではないかと思えます。弊社の仕事でも常日頃から、これはこうした方が良いのではないかと考えと工夫を蓄積してまいります。

【news】5月20日(水)〜22日(金)東京ビックサイト ifiaア
 イフィア：国際食品素材／添加物展・会議、6月18日(木)〜19(金)有
 楽町朝日ホール 日本香粧品学会、7月1日(水)〜3日(金)東京ビック
 サイトインターフェックスジャパン(医薬品・化粧品・洗剤 研究開
 発・製造技術国際展)に出展いたします。今月号はインターフェックス
 ジャパンのご招待券を同封いたしました。皆様のご来場、お待ちしております。
 ります。

| | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|
| 回覧・印 | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございました。差し支えが無ければ回覧いただけると幸いです。ごめい。